



東北という地で見つけたもの ～"あなた"と出会って～

主催：関西学院ヒューマンサービスセンター 共働プラットフォーム

2012年12月20日(木)

(時間) 18:30～20:20

(場所) 関西学院大学上ヶ原キャンパス
B号館—103

- 18:20 開場
- 18:30 開演
- 18:35 共働プラットフォームによる活動報告
寄り添って～私たちにできるボランティア(永井佑宜・渡辺恭晃)
- 18:55 休憩
- 19:05 佐藤慧氏による講演
- 20:05 質疑応答
- 20:20 閉会



講師:佐藤 慧 氏

2011年3月11日、東日本大震災から1年9ヶ月という月日が流れ、人々は“復興”への道をそれぞれの歩幅で歩み始める。あるフォトジャーナリストは“人間の可能性”を探し求めて、ある学生は“何か力になりたい”その思いに駆られて、震災後の東北に導かれた。そこで彼らが見たものとは？そこで彼らは誰と出会い、そして何を思い歩み続けてきたのか？

(お問い合わせ)

関西学院大学 共働Pスタッフ 渡辺 恭晃

ffmfpppp@gmail.com

1982年岩手県生まれ。東京都在住。
studio AFTERMODE 所属。大学時代は音楽を専攻。
世界を旅する中でその不条理に気付く。2007年に
アメリカのNGOに渡り研修を受け、その後、南部
アフリカ、中米などで地域開発の任務につく。2009年
にはザンビア共和国にて学校建設のプロジェクトに携わ
る。2010年 studioAFTERMODE に入社、
ジャーナリストとしてアフリカを中心に取材を始める。
東日本大震災により両親の住んでいた街、陸前高田市が
壊滅、復興支援団体「みんつな」を立ち上げ支援に関わ
りながら取材を続ける。写真と文章を駆使し、人間の可
可能性、命の価値を伝え続けている。2011年世界ピース
アートコンクール入賞。